

築人 KIZUKU

広報誌



1

2016
January

No.619

2016年度スローガン

「今」を駆け抜けよう!

～燦然と輝く笑顔溢れる未来を目指して～

2016年度スローガン

「今」を駆け抜けよう！

～燦然と輝く笑顔溢れる未来を目指して～



新年のごあいさつ

公益社団法人水沢青年会議所 浅間 光 将
2016年度 第54代理事長

新年あけましておめでとうございます。2016年の新春をお慶び申し上げますとともに、水沢青年会議所第54代理事長として謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2015年度は千葉聡理事長のもと『いい奥州をつくりましょう』をスローガンに掲げ、会員一人ひとりが奥州地域の更なる発展の為に行動しながらよく考え、熟考しながら即実行への精神で各事業を展開して参りました。また、一年を通じてOB諸先輩や市民の皆様には多くのご支援とご協力を賜りましたことをこの場をお借りしまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年は『「今」を駆け抜けよう！～燦然と輝く笑顔溢れる未来を目指して～』をスローガンに掲げ、JCYが理想としている明るい豊かな社会の実現の為に運動を展開して参ります。

また、JCYは20歳から40歳までの年齢で構成されており「現在を生きている世代として、未来を生きる世代の可能性に対して責任がある」世代でもあります。私たちはこの奥州地域の発展の為に課せられた責任と使命を自覚するとともに、「今」私たちに必要とされている問題を再確認し笑顔溢れる未来へつながる事業を展開します。そして、これまでの53年間の歴史を継承しつつ、新たな可能性を追求する一年にして参ります。

【笑顔溢れる未来を目指して】

国の三位一体改革の推進による地方交付税の削減と合併特例法による財政支援の期限切れに伴い、2003年から2005年にかけて「平成の大合併」はピークを迎えました。この奥州地域も2006年2月に5市町村を基軸に合併し、新たに誕生した奥州市となってから今年の2月で10年が経過します。

さて、合併してからの10年間で奥州地域はより良いまちへと進んでいるのでしょうか。地方都市の抱える問題の一つとして人口減少が挙げられます。この問題は奥州地域にとっても例外ではなく、日本創生会議より発表された2040年の人口推計から導かれた消滅可能性都市896のリストに奥州市が含まれていたことは記憶に新しいところです。また、各地域では依然と少子高齢化が進むとともに、都市部へ若者の流出を中心とした生産年齢人口の減少も続いております。一方では2013年に国際リニアコライダーが国内建設候補地として北上山地に決定した明るい話題もありました。不安と希望が入り混じる現在の社会を、私たちはこの地域の未来を見据え可能性を追求し、率先して行動する必要があります。

私の考える未来とは「奥州地域ならではの文化や産業を誇れる知識と自覚を持ち、この奥州地域に人が集う魅力の溢れるまち」です。この奥州地域には農・工・商のバランスがとれた産業基盤があります。また、世界に誇れる歴史や文化、自然豊かな環境もあります。そして他にも私たちが知らない魅力がまだまだ埋もれていると考えられ、このような奥州らしさの魅力を追求することにより私たちが住む地域への誇りが生まれます。奥州地域として誇れるものが心の中にあるからこそ人が集う魅力の溢れるまちになります。

そして「まちづくりはひとづくり」とあるように、子供た

ちの健全な成長は私たちの希望であり、未来のまちづくりを担う子供たちを導くのが私たちの責務です。私が考える健全な成長とは心身の成長だけではなく、学校生活だけでは得られない体験を基に住んでいる地域へ興味関心を持ち、郷土愛を深められるような成長が必要と感じます。子供たち同士、または地域との触れ合う機会が少なくなっている今だからこそ、様々な体験を通じて人と人のつながりや地域とのつながりに触れ合うことにより、この地域への郷土愛が育まれます。そして育まれた郷土愛は次世代を託すまちづくりの礎となり、この奥州地域の未来の大きな力になると確信して事業を展開します。

【求められている組織力の強化】

私たち水沢青年会議所会員も人口とともに年々減少しております。このまま減少の一途を辿ると明るい豊かな社会の実現に向けて私たちの活動が困難な状況になる中で、より多くの会員が在籍することにより、様々な価値観を持った仲間と同じ目的へ一丸となって活動する事は個々の感性を磨きあげるとともに、事業に対してもより高い効果を挙げられると考えます。同じ志を持つ仲間を必要としている今、会員一人ひとりが担当者となり責任と自覚を持ち会員拡大に励みます。

また、水沢青年会議所は2017年に東北青年フォーラムを主催します。この東北青年フォーラムは東北地区協議会の運動を発信する最大の場であり、また、岩手県内並びに奥州地域の魅力を発信する重要な場でもあります。私たち水沢青年会議所は東北地区協議会及び岩手ブロック協議会や各種団体と知識と情報を共有し、大会の成功に向けて連携を深めてまいります。

【過去から未来へとつながる「今」を駆け抜ける】

過去から現在、そして未来へと時間が流れる中で、私たちはいつも現在を歩き続けています。今、私たちが求めている「明るい豊かな社会」とは、時間軸において未来を示し、その未来は現在が続いていった先にあります。例えば10年後の奥州地域を考えたまちづくりにおいて、ビジョンは未来を示し、それに向けて活動するのが現在となります。何もしくなくても未来はいつか訪れますが、「誰のために」「何のために」と活動する対象と目的を明確化にする事により、未来はより一層と輝きを増し、「どのよう」に達成するかを計画し実行する、その過程を経て私たちは成長するのです。また、水沢青年会議所が53年間続いてきた過去にはそれぞれ一年ごとに背景があり、活動した歴史があります。そして私たちは今、過去からまだ見ぬ未来へとつながる縦軸と2016年という横軸の時間軸の交点に立っています。単年度制で組織されるJCYですが、不連続の連続といわれるように、今まで築き上げられてきた人と人のつながり、人と地域のつながり、地域と地域のつながりがあるのです。私たちはこのつながりを原動力として笑顔溢れる未来を目指し「今」を駆け抜けます。

結びに、関係諸各位の皆様方のご繁栄とご健勝を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭あいさつ



奥州市長
小沢 昌記

平成28年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

水沢青年会議所の皆様には、常に地域の発展を願い、積極的にまちづくり活動に取り組み、奥州市の活性化に多大なるご貢献をいただいておりますことに、衷心より感謝と敬意を表します。また、皆様にはインディアン旗野球大会の開催などひとつづりへの活動に積極的に取り組み、重ねて感謝申し上げます。体験を通じた地域との触れ合いにより育まれた郷土愛が、まちづくりの礎となり、奥州市の未来の大きな力になると確信しております。

奥州市は、本年2月に合併10年を迎えます。ひとつの行政体としての、奥州市という新しい個性を創り上げるため、自治会連合会や地域振興会を地域自治の単位とする協働の力で「幸せを実感できるまちづくり」を進めてまいります。奥州市民の融和と尊重こそが、人

間力の向上につながり、まちの元気、引いては魅力と品格に通ずると確信しています。ともに新しい奥州市を創り上げてまいります。そして今年、「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」が開催され、奥州市では8つの競技が行われます。市民の皆様と関係者各位のご協力をいただき、素晴らしい大会となるよう、一丸となって取り組んでまいります。

皆様におかれましては、各界との交流や研修を通じてより一層自己研鑽を積み、その組織力と機動力をさらに発揮いただき、奥州市の発展、活性化のためにご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、水沢青年会議所の益々のご発展と、浅間新理事長をはじめ、会員皆様にとりまして、本年が明るく希望に満ちた一年になりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



奥州商工会議所 会頭
千葉龍二郎

新年あけましておめでとうございます。

2016年の新春を迎え、公益社団法人水沢青年会議所の皆様のご健勝とご繁栄を謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年のが国経済は、10月に発足した安倍内閣により「希望を生み出す強い経済」「夢をつむぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」の「新三本の矢」が提示され、「一億総活躍社会」というコンセプトのもと様々な経済政策が打ち出されました。しかし、20年にわたる「供給過剰・デフレ」の状態から脱却しつつある事や、円安による輸出増などによる企業収益の改善がみられると言われておりますのは、一部大企業や関連企業に集中し、一昨年の消費増税の影響や人口減少、少子高齢化など様々な課題が山積する地方では、一向に景気回復の実感が無いのが現状であると思います。また、TPPの問題につきましても、政府間で大筋合意がなされたものの、地域の基幹産業であります農業や、地方の中

小企業に与える影響はまだ不透明であり、今後とも注視していく必要があります。

こうした状況に対応するためには、私達商工会議所は勿論ですが、「明るい豊かな社会」の実現に向けて活動しております水沢青年会議所会員皆様の日頃の活動も非常に重要であると考えております。

特に、本年は「今」を駆け抜けよう！～燦然と輝く笑顔溢れる未来を目指して～のスローガンのもと地域の未来に向けた活動を展開していくと伺っております。これまで、先輩方によって築かれた伝統に「奥州を良くしたい」という強い信念をお持ちの皆様方の知恵と力を加え、より一層素晴らしい水沢青年会議所の活動が行われますことを大いに期待しております。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして、幸多く、輝かしい年になりますとともに、貴青年会議所の力強いご発展を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



〇日会長
鎌田 卓也

新年明けましておめでとうございます。

水沢青年会議所の会員の皆様には在りましては、新たな活動の始まりの時を迎え多少の不安を持ちながらも、大いなる気概と充実を感じているのではないかと推察いたします。

又、千葉直前理事長には昨年一年間会議所活動の先頭に立ち、会員の皆さんを先導され大変ご苦労様でした。その活躍ぶりは皆様の知る所です。そして、本年は浅間理事長の下【スローガン】「今」を駆け抜けよう～燦然と輝く笑顔溢れる未来を目指して～を掲げて活動を展開するとの事で、其の成果が大いに期待される所です。

さて、昨今地方の時代とか地方の再生とか言われて久しい訳ですが、青年会議所

の活動こそが正に其の言葉を象徴しているのではないかと思います。何故なら、其の活動の根幹を自分たちが生まれ生活をしている場所に置き、地域の活性化を通して自己実現を追究しているからです。そして、「東京だって大阪だって、こっちから見れば地方じゃないか」位の意気込みを持って、地域のリーダーとしてこの奥州地区を牽引して行く大きな力を発揮して頂きたいと思っております。

2017年には「東北青年フォーラム」の主管 LOM を努めるとの事ですので、其の準備等で忙しい一年になる事とは存じますが、地域の期待を担って活躍されることをご祈念し新年の挨拶といたします。

2016年度

まちづくり委員会



〈委員長〉
安藤 正明
（株）みどり薬局
2015年度入会



〈副委員長〉
野田 公之
野田工業（株）
2013年度入会

委員 小山司（（株）プラザ企画プラザイン水沢）、福田光（（有）幸寿司）
西條仁也（（有）西条創建）、小野資（新星機械（有））
千田祐太（RMY）、錦山裕充（（株）ハローワーク）

新年あけましておめでとうございます。2016年度まちづくり委員会の委員長を務めさせていただきます安藤正明と申します。我々まちづくり委員会では、本年度の浅間理事長が掲げる、基本方針「誇りと気概を育むまちづくり」を実現する為に活動して参ります。

具体的には、この地域に住む20～30代の若い世代の方へ、一緒にまちづくりへ参画してもらい、奥州地域の魅力を集め幅広い世代の奥州市民へ向けて発信します。忘れていた郷土の魅力、知らなかった郷土の魅力へ見て触れる事で、郷土愛を醸成し市民の力をあわせてまちを元気にし、そして地域の魅力を発信します。JCの事業としては、1年間の単年度の活動となりますが、共に活動する志ある若者のまちづくりに対する誇りと気概は残り、後の活動へ繋がっていきます。また、ILC（国際リニアコライダー）の誘致実現へ向けて、奥州地域の未来の魅力である、多国籍の方と生活を一緒にすること、異文化に触れることの楽しさを体験できる場を設け、ILC実現へ向けた活動へ貢献します。委員会メンバー一同、まちづくり活動をおおして水沢青年会議所の活動を盛り上げて行きますので、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

ひとづくり委員会



〈委員長〉
小野寺忠徳
（株）小野忠石材店
2015年度入会



〈副委員長〉
佐藤 直子
らーめんの石川五右衛門
2008年度入会



〈副委員長〉
千葉 祐輝
読売センター水沢
2015年度入会

委員 高橋 賢（（有）高橋自動車工業）、五十嵐智行（（株）水沢ハウス）
浅利祐輔（キタノトーヨー住器（有））、橋本友香（（株）水沢農業）
佐藤恒一（（株）丸政）、有岡竜哉（（有）岡総業）

新年明けましておめでとうございます。2016年度ひとづくり委員会の委員長を承ることになりました小野寺忠徳と申します。入会2年目での委員長ということで、家族やメンバー、周囲の方々にはご心配とご迷惑をかけると思いますが、お受けした以上精一杯職務を全うしていきたいと思っておりますのでご指導の程よろしくお願い致します。

さて、我々ひとづくり委員会では次世代のまちづくりの礎を担う子供たちを対象に家庭や学校における限定された人間関係を離れ、地域に住む様々な人と関わり、歴史・伝統文化・食文化・生活風習など多くの魅力を五感で感じ、奥州地域を今より知ってもらうことにより郷土愛を育んでもらう事業を開催いたします。また、水沢青年会議所の中で受け継がれ代表的事業である第59回奥州インディアン旗野球大会においては小学校低学年から中学生までの子供たちとその家族・地域間の交流の場を創出することで、地域のコミュニティの活性化に寄与し、野球というスポーツを通じて礼儀や道徳、チームワークの大切さ、仲間を思いやる気持ち、何事にも諦めない心と協調性を育み心身の健全な成長を促していきたいと考えております。

水沢青年会議所の諸先輩方が築いてこれられました歴史と伝統を守りつつ、その時代に合わせた事業を構築することで一年間一生懸命頑張っております。皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

委員会紹介

総務広報委員会



〈委員長〉
岩淵真幸人
医療法人清和会
2014年度入会



〈副委員長〉
佐藤 仁
〈前〉サクマ興業
2004年度入会

委員 大坂歩 (〈前〉割烹西京庵)、荒木田安弘 (あらきだ歯科クリニック)
高橋隆行 (〈株〉セントラル)、小野真紀子 (〈株〉北都交通)
佐々木翔 (〈県南〉クレール)、小原祥太 (やきとり一心)

今年度の総務広報委員会は、「価値ある情報の継続的な発信」を念頭に、「明るい豊かな社会」を築くために水沢青年会議所がより円滑に事業展開を行えるよう、地域へ伝わっていくという広報を目指して活動していきます。積極的に各委員会とも連携して広報としての発信力を高め、私たち青年会議所の目的や事業内容を市民の方や地域からの視線を意識して発信していきます。

当広報誌「築く」を中心に、ホームページやフェイスブック等ウェブツールを利用しながら、より幅広い世代に向けリアルタイムな発信を行う方法を随時検討し、青年会議所の運動に魅力を感じて頂けるよう年間を通じて継続的に情報発信していきます。私たちの運動を目に見える形で発信することで、会員間の情報共有はもとより、市民の方やOB先輩、会員家族から私たち青年会議所の運動展開に対するご理解ご協力を頂くとともに、奥州地域における水沢青年会議所の認識を深め、信頼を高めていきます。また、「初顔合わせ」「卒業式」という伝統的な式典においては会員一人ひとりがJAYCEEとしての矜持と伝統を心に刻み、新たな伝統を築くための一歩として、未来へ向けてこの会の運動の軌跡を繋げていける場となるよう努めていきます。

新入会員がはじめに配属される委員会ということもあり、メンバー一同切磋琢磨しながら活動していきますので、ご支援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

フォーラム準備室



〈室長〉
及川憲太郎
〈前〉及川薬局
2010年度入会



〈副室長〉
千葉 俊哉
〈前〉乙女屋
2012年度入会



〈副室長〉
相津 恒輔
〈前〉津ネーム
2011年度入会

委員 阿部由起男 (あべ印刷〈株〉)、山田正文 (〈前〉山田工務店)
高橋梨奈 (〈前〉高橋総合設備)

当室では、2017年度の東北青年フォーラムの水沢開催に向けて準備してまいります。東北青年フォーラムは東北77会員会議所が集う我々JCの運動の最大の発信の場であり、同時に水沢JCが主管LOMとしてこの奥州水沢の地域を東北に発信できる見せ場でもあります。その中で主管LOMとしてこの地域からでなければ伝えられない事、この地域の魅力を最大限に発信していく為には我々青年会議所が地域の魅力や抱

える諸問題について正しく理解していく必要があります。

このフォーラムが地域の魅力を発信し、そこに住み暮らすひとまも元気になるような地域の発展に寄与していく実り多い大会とする為に、本年度はこれまで行ってきた活動や培ってきた想いをさらに発展させてまいります。会員に対しては、フォーラム主管に向けての活動を通じて理解を深めるセミナーや勉強会を開催し、会員の参加意識を高めてまいります。そして主管を通じてLOMも地域も発展していく為に、対外では、各関係団体等の地域コミュニティとの連携の強化・情報の発信など大会へ向けた準備を行っていき、対内では、東北地区協議会、岩手ブロック協議会、県内12LOMと連携を図り、来るべき2017年度そしてそこから先へ向けて力強く前進していくLOMに発展してまいります。

当室では東北青年フォーラムにむけた一丸となった活動ができるよう、これらの運動を展開してまいりますので一年間宜しくお願いいたします。

出向者紹介

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区協議会

監査担当役員 千葉 聡
 東北青年フォーラム運営委員会 委員長 阿部 由起男
 東北青年フォーラム運営委員会 総括幹事 相津 恒輔
 東北青年フォーラム運営委員会 委員 山田 正文
 東北青年フォーラム運営委員会 委員 高橋 梨奈
 東北ゼミナール委員会 委員 高橋 幸博

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 岩手ブロック協議会

監査担当役員 伊藤 淳
 副会長 千田 將智
 財政局長 野田 公之
 いわてJAYCEEアカデミー委員会
 塾生 伊藤 正実 塾生 千田 正太
 塾生 安藤 正明 塾生 小野寺 忠徳
 塾生 有岡 竜哉 塾生 錦山 裕充
 塾生 千葉 祐輝 塾生 山田 正文
 塾生 西條 仁也 塾生 小野 真紀子

Next event Schedule

〈今後のスケジュール〉

1月 (Jan)

11日(月・祝)
 1月例会並びに新年初顔合わせ
 会場 料亭丸松
 担当 総務広報委員会

22日(金) ~ 24日(日)
 (公社) 日本青年会議所
 京都会議

26日(火)
 水沢JC説明会
 会場 奥州市民活動支援センター

2月 (Feb)

14日(日)
 2月例会 家族懇親会
 会場 水沢グランドホテル
 担当 三役



編集後記

あけましておめでとうございます。今年の正月は暖冬の影響もあり雪が少なく、また休みも普段の連休とたいして変わらない日数だったせいか、仕事始めの実感も乏しい感じでした。皆様はいかがでしたでしょうか。

今年の「築く」はより広報誌として市民の皆様へ当青年会議所今まで以上にご理解いただけるよう、また各事業にご参加いただきたくなるような記事を作りたいと考えています。また、ホームページも徐々に密度を上げていきたいと思っておりますので、委員の皆様、おれこれ考えながら楽しんでいきましょう。

この号が出るころには第一子の出産も控えており、家庭と仕事、そしてJC運動のバランスをとりながらになります。一年間頑張りますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

総務広報委員会委員長
岩淵 真幸人

水沢JC説明会 参加者大募集

日 1月26日(火) **会場 奥州市民活動支援センター**
時 午後7時~ (メイプル地下)

会員募集

水沢青年会議所の 仲間に入りませんか?

地域の青年のみなさん! 他業種の、それも同年代の人々と幅広く勉強し、一緒に行動し、そして友情の輪を広げてみませんか? そうした事の出来る団体が、青年会議所です。40歳までをどう過ごすか、共に考え活動していきましょう!

**修練・奉仕・友情を信条とし、
よりよい社会づくりを目指す。**

青年会議所は大きな可能性に向けての自己投資です

表紙写真 2016年度 常任理事
「水沢江刺駅JC日時計前にて」